（お　知　ら　せ）

平成２３年１０月７日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

１．運転状況について（１０月７日現在）

１　号　機 沸騰水型（３５万７千kW）	第３３回定期検査中 平成２３年１月２６日～未定*
２　号　機 加圧水型（１１６万kW）	第１８回定期検査中 平成２３年８月２９日～未定*

（　）内は定格電気出力

＊：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

２．故障等の状況について（平成２３年９月３日～平成２３年１０月７日）

（１）法律に基づく報告事象

なし

（２）安全協定に基づく異常時報告事象

第３３回定期検査中の敦賀発電所１号機において、平成２３年９月２７日、非常用ディーゼル発電機（以下「Ｄ／Ｇ」という。）（Ａ）定期試験のため、格納容器冷却海水系ポンプを起動したところ、Ｄ／Ｇ（Ｂ）室内に設置されているＤ／Ｇ（Ａ）海水戻り配管より海水の漏れを確認し、格納容器冷却海水系ポンプの停止により漏れは停止しました。

このため、Ｄ／Ｇ（Ａ）を待機除外とし、１５時２２分に保安規定の運転上の制限を満足していないと判断しました。

本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

（９月２７日お知らせ済み）

原因調査の結果、配管継手部に挿し込んでいる配管が短かったため、漏れ止め用のパッキンと十分に接触していない状態でした。この状態で、今定期検査において耐震サポートの位置調整を行ったことにより、挿し込み配管が僅かに移動し、パッキンと配管の間に隙間が生じ、海水が漏えいしたものと推定しました。

対策として、当該海水配管をパッキンと十分に接触する長さの新品に取替え、

漏えいがないことを確認した上で、Ｄ／Ｇ（Ａ）の定期試験を行い、健全性が確認されたことから、１０月７日２時１４分に運転上の制限を満足した状態に復帰しました。

（３）保全品質情報等

なし

３．敦賀発電所３，４号機　準備工事について（１０月７日現在）

（１）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事、止水壁の構築工事、中央渓流砂防堰堤準備工事等を行っています。

（２）仮設工事関係

浦底湾側の仮設用地内にコンクリートプラント設備を設置する工事を継続して行っています。

４．東北地方太平洋沖地震関係

当社は、平成２３年３月１１日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、関西電力、日本原子力研究開発機構と共同で、若狭湾沿岸における津波堆積物調査を実施することとしました。

また、既に国へ提出した緊急安全対策に係る実施状況報告書の一部に誤記が確認されたことから、報告書を再提出するとともに、その原因と再発防止策をとりまとめ、国へ報告しました。

詳細については別紙１をご参照下さい。

当社は今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

５．その他

（１）ベトナム電力公社との原子力発電導入可能性調査実施に関する契約の締結について

当社は、９月２８日、ベトナム電力公社との間で、ベトナム・ニントゥアン省第２サイトにおける原子力発電導入可能性調査(*)の実施に関する契約を締結しました。

今後、平成２５年３月までに調査結果を報告することとしています。

＊：原子力発電所の導入判断、円滑な導入のため、その必要性、炉型、安全性、経済性や立地可能性等の評価を行うもの。

（平成２３年９月２８日発表済）

（２）げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

１）ぬくもりサークル 切り遊＆刻遊展

〔ぬくもりサークル（代表：水野 之夫様）の皆様による、切り画、刻書の作品展です。季節の行事や風俗、習慣、生活シーンなど多角的に切り画で表現し、グループの会報、手作、ＰＯＰなどに活用している作品を約７０点展示予定です。〕

(10/4～10/16)

２）「つながり」きり絵と影絵展

〔松原公民館の学習教室を軸に三十年位活動されている、増田 妙子様（切り絵）、霜田 悟様（影絵）のお二人による作品展です。パソコンを使った独自の手法で創作された影絵や、四季の風景、花などデッサンから作品迄、お互いに研賛し合って製作された両作品を約４０点展示予定です。〕 (10/25～11/6)

（３）次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

“げん丸塾”秋の星空観察会

対象：げん丸塾生（会員制）及び、敦賀市エネルギー科学教室参加者

会場：敦賀市こどもの国、滋賀県高島市マキノピックランド駐車場

日程：１０月２９日（土）

以上

別紙１

東北地方太平洋沖地震への対応実績（９月４日以降）

（１）若狭湾沿岸における津波堆積物調査の実施について

関西電力株式会社、日本原子力発電株式会社、独立行政法人日本原子力研究開発機構の３社は、若狭湾沿岸における津波の堆積物について、共同で調査を実施することとしました。

本調査は、三方五湖およびその周辺において、陸上・湖面上の合計９地点でボーリング調査を実施し、採取した試料の分析・評価を行う計画であり、期間は約１年間を予定しています。

なお、調査結果については、津波堆積物に関連する学識者に評価していただいた上で公表いたします。

今後、津波等に関する情報収集に努め、新たな知見が得られた場合は津波の評価および対策に適切に反映してまいります。

（平成２３年９月９日発表済）

（２）緊急安全対策に係る実施状況報告書等の再提出およびその対応について

当社は、平成２３年３月１１日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、国からの指示により提出した以下の報告書において一部記載の誤りを確認し、経済産業大臣、原子力安全・保安院長に訂正した報告書を提出しました。

今回の記載誤りについては、それぞれの評価結果に影響はありませんでした。

（平成２３年９月１５日発表済）

その後、平成２３年９月１５日付け、原子力安全・保安院からの「緊急安全対策等の報告書における誤りの有無の調査等について」の指示により、緊急安全対策等の報告書の誤りの有無について調査し、１５日に報告した内容以外に誤りがないことを確認し、誤りがあった報告書についての原因および再発防止対策と合わせて、原子力安全・保安院に報告しました。

当社は、報告書に記載誤りがあったことを重く受け止め、今後、再発防止策を徹底してまいります。

（平成２３年９月２８日発表済）

（３）支援の実績について

当社及び当社関係会社では、東京電力並びに関係自治体等に対し、応援要員の派遣、消防ポンプ車や放射線測定器等の資機材の提供を行っています。

１）要員派遣実績（９月３０日現在）

当社及び当社関係会社から１５人（このうち敦賀地区からは５人）派遣中。

（３月１５日以降の累計は、全社合計で延べ３，３５８人･日）

２）資機材の提供実績（９月３０日現在）

消防ポンプ車　１台

放射線測定器類（ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀ、ﾎﾟｹｯﾄ線量計等）　約１３０台

防護服　約３，５００着

その他（放管資機材）

当社は引き続き安全を最優先に、皆様に安心していただける発電所を目指し運営にあたるとともに、今回の福島第一原子力発電所における事故を踏まえて、必要な対策を速やかに実施し、発電所の安全確保に万全を期してまいります。

以上